

年度	2017年度	開講部局	教養教育		
講義コード	63330002	科目区分	基盤科目		
授業科目名	細胞科学[1医医]				
授業科目名 (フリガナ)	サイボウカガク				
英文授業科目名	Cell Science				
担当教員名	浅野 知一郎,和崎 淳,今泉 和則,吉栖 正生,伊藤 日加瑠,相澤 秀紀,橋本 浩一				
担当教員名 (フリガナ)	アサノ トモイチロウ,ワサキ ジュン,イマイズミ カズノリ,ヨシズミ マサオ,イトウ ヒカル,アイザワ ヒデノリ,ハシモト コウイチ				
研究室の場所	霞 総合研究棟6階	内線番号	霞5135		
E-mailアドレス	tasano@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東千田	開設期	1年次生 前期 2ターム		
曜日・時限・講義室	(2T) 木1-4：東千田M304講義室				
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第3版」(羊土社)にそって、1章から7章までを、1日(2コマ)で1章のペースで教える。従って、学生は、本教科書を購入する必要がある。2日目以降は、最後の30分で毎回、その日の講義内容に関して復習テストを行う		
単位	2	週時間	4	使用言語	J：日本語
対象学生	医学部医学科				
学修の段階	1：入門レベル				
学問分野(分野)	26：生物・生命科学				
学問分野(分科)	04：生命科学				
授業のキーワード	細胞、エネルギー、膜、遺伝子、代謝、生命				
教職専門科目		教科専門科目			
関連するプログラム					
教養教育又は パッケージの中での この授業の位置づけ					
学習の成果	生物の体を形作る細胞の構造と機能を学習することにより、細胞が生きるためにどのような仕組みを持っているかを理解し、多細胞生物の複雑なシステムを理解するための基礎的学力を得る。				
授業の目標・概要等	生命科学の基礎として細胞の持つ基本的な構造と機能について理解する				
授業計画	<p>第1、2回：簡単なガイダンスと1章(生物学の歴史・成り立ち(分類・進化・遺伝など))</p> <p>第3、4回：2章(細胞と細胞小器官の構造・機能など)、復習テスト</p> <p>第5、6回：3章(DNAやタンパク質の構造やはたらきについて)、復習テスト</p> <p>第7、8回：4章(代謝経路によるエネルギーや物質の産生など)、復習テスト</p> <p>第9、10回：5章(タンパク質の種類や機能、動態など)、復習テスト</p> <p>第11、12回：6章(細胞接着と、シグナル伝達のしくみなど)、復習テスト</p> <p>第13、14回：7章(DNAの複製と修復、細胞周期と体細胞分裂など)、復習テスト</p> <p>第15回：追試日</p>				
教科書・参考書等	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第3版(羊土社)				
授業で使用する メディア・機器等	教科書と教員による板書が中心となる。 一部、液晶プロジェクタによりスライドを映写する。				
予習・復習への アドバイス	第4、6、8、10、12、14回の後半30分程度は復習テストに使われる。 テストで良い成績を取るためには、講義の前に予習しておくことが必要となる。				
履修上の注意 受講条件等	毎回、復習テストを行うので、講義前に予習しておく必要がある。				
成績評価の基準等	毎回の講義後半に行う復習テストの平均で60点に達した場合に合格とする。正当な理由のない欠席は0点とする。不合格者(60点未満)には日程を空けて1回のみ追試を行う。追試は、すべての講義範囲から出題される。				
メッセージ	2年次からの専門課程での授業が理解できるようになるために、細胞科学の授業はきっちりと勉強してください。予習しておくことが必要です。				
その他					

すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。
回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。